会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  （３）職業実践専門課程等に関する支援体制づくりの推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回実態調査WG |
| 開催日時 | 令和2年9月14日（月）　13時00分～15時00分 |
| 場所 | オンライン会議 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡 信吾  委　　　員：林　宏冶、岡村　慎一、山根　大助、川端　康浩、  安田　実、古賀　稔邦　　　　　　　　　　　　 計7名  オブザーバー：佐藤　昭宏、樋口　健、増子　卓矢　 　　　　計3名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計11名 |
| 議題等 | 1. WGリーダー挨拶（林） 2. 委員紹介（各委員） 3. 事業概要の共有（林）   ・専修学校における自己点検・評価の結果の相互検証、共通的評価基準  モデルの開発と運用  ①自己点検評価　　基準モデルの開発  ②第三者評価の情報整理  ③第三者評価　スタンダードモデル認証モデルの開発  ④情報公開促進  ・全体像の説明  ・質向上への取り組みの説明  ・今年度の取り組み  　●スケジュール  ①自己点検・評価標準モデルプロトタイプ版（仮称）開発  ②第三者評価に関する実態調査（アンケート調査）  ③第三者評価に関する実態調査（学校聞き取り調査）  ●TO DO  ①自己点検　実態調査効果的な改善活動に繋がっているか。  　ポイント:点検項目の標準化と効果的な改善活動が行なわれているか②第三者評価実態調査(情報整理）  ・計画の説明  2. 本年度実施事項（調査）に関する審議（林）  ・第三者評価アンケート項目案の説明  　大項目として、①基本情報 ②自己点検評価について ③第三者評価に  ついて の3項目で作成。  ・自己点検評価について意見交換  ⇒活用方法、学校に役立っているか等確認・検討するために、約20校  から自己点検評価の項目を抽出する予定。  ⇒アンケート結果と公開されているデータを照合しながら進める。  ⇒義務だからではなく、教育活動の改善にどのようにつなげていくか。  理念、改善の仕組みの浸透が課題。  ⇒教育の質向上、学校の管理運営(アンケート項目No.18、19)が重要。  ・アンケートの際に、是正、改善など言葉の定義を掲載できると良い。  3. スケジュール確認（林）  ・第2回実態調査WGは10月27日(火)13時～麻生塾（対面）にて開催。  　※状況によってWeb会議併用   1. その他   ・対面開催時の移動の際はGoToキャンペーンの使用は禁止。（飯塚） |
| 配布資料 | ・事業計画書  ・全体管理ファイル  ・アンケート調査項目等検討 |

以上